

C-26

出展団体名	九州大学大学院農学研究院	
発表者所属	生産環境科学部門地域環境科学講座気象環境学研究室	
発表者氏名	真木太一・脇水健次・西山浩司	
発表タイトル	雨降らせませす・雪降らせませす	
ねらい	[○] ビジネスパートナー探し	
	[○] 共同研究パートナー探し	
	[] 共同製品開発のパートナー探し	
	[] 所有技術シーズの顧客（ライセンサー）探し	
	[○] その他（実用化に向けての研究費確保のため）具体的に	
キーワード	①人工降雨	②水資源
	③降水	④気象制御
要 旨（アピールポイント）		
<p>科学的な方法による人工降雨法は、第2次大戦後、アメリカで始まった。その方法とは、「ドライアイスを用いる方法」と「ヨウ化銀を用いる方法」である。しかし、これらの方法は、「効率が悪い」、「環境にやさしくない」、「費用がかかる」、「設備が大変だ」等の理由で全く良い方法とは言えない。</p> <p>そこで、新人工降雨法を提案する。この方法は、航空機に液体炭酸ポンペを載せ、航空機からノズルを出し、雲底すれすれに液体炭酸を撒布する方法である。この方法は、先ほどの「ドライアイス法」や「ヨウ化銀法」に比べ、「非常に効率が良い」、「環境にやさしい」、「安価」、「設備が簡単」等、非常に優れた方法である。</p> <p>この新人工降雨法は、NHKの「クローズアップ現代」にも放映され、朝日・日経・毎日・読売および多くの地方紙にも紹介された。</p>		
特記欄		